

福祉専門職編

# あなたを熱中症から守るために

---



独立行政法人 環境再生保全機構

2025年3月

## はじめに 救急搬送者を一人でも減らすために

### 1 熱中症の症状と対応

### 2 効果的な予防に向けた3つの実践

①エアコン編

②水分補給編

③涼しい服装・涼しい環境づくり編

### 3 資料編 熱中症予防に役立つ豆知識

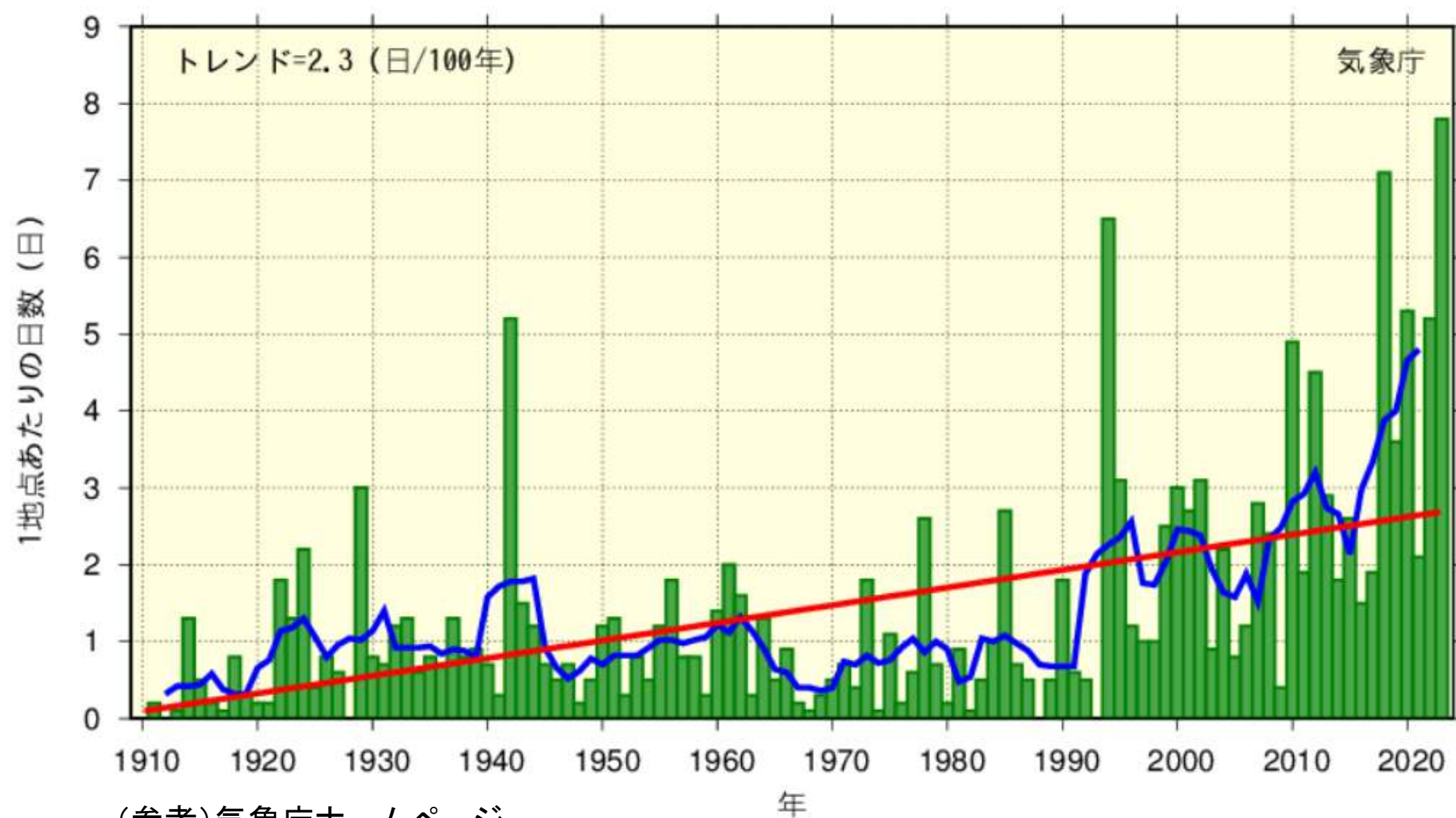


はじめに 救急搬送者を一人でも減らすために

# はじめに

近年、気候変動等の影響により、一般的な生活環境下での熱中症の発症が増えています。

■全国の日最高気温35℃以上(猛暑日)の年間日数の経年変化(1910～2023年)



(参考)気象庁ホームページ

直近の30年間の猛暑日平均年間日数は、1910年からの30年間と比べて、**約4倍**に増加しています。  
**今と昔では夏の暑さが違う**  
ことを認識し、しっかりとした熱中症対策が必要です。



## はじめに

老化に伴う皮膚の温度センサーの感度が鈍くなっている高齢者は熱中症の発症リスクが高く、  
注意が必要です。高齢者のなかでも、特に熱中症に注意したいのは、  
例えば…

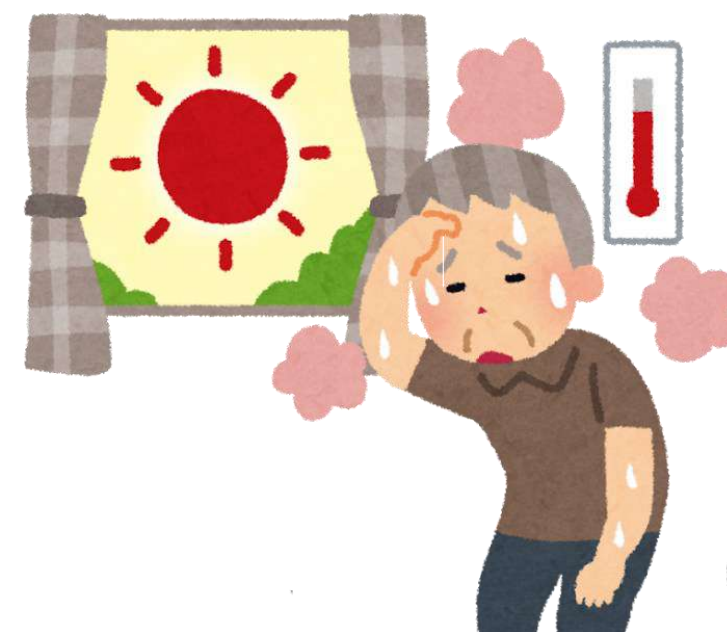
独居の方など  
外部の見守りが弱い方



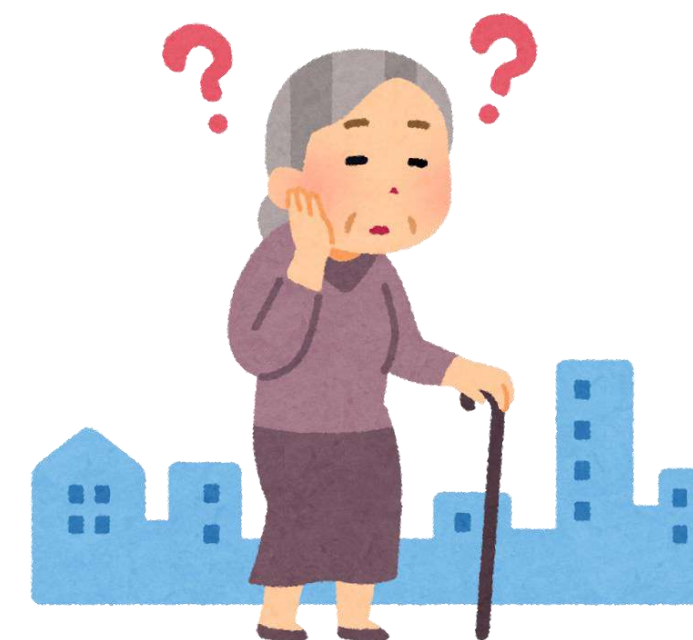
呼吸器疾患がある方



猛暑でもエアコンを  
使用していない人



認知機能が低下  
している方



## はじめに

2022年度に大阪府吹田市で実施した調査によると、同市における高齢者の熱中症救急搬送者の約7割が、自宅で介護サービス等を受ける方であると推定されました。

また、自宅で介護サービス等を受ける方のうち、「男性」「居住年数30年以上」「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ」といった方の熱中症の発症リスクが高くなっていることが分かりました。

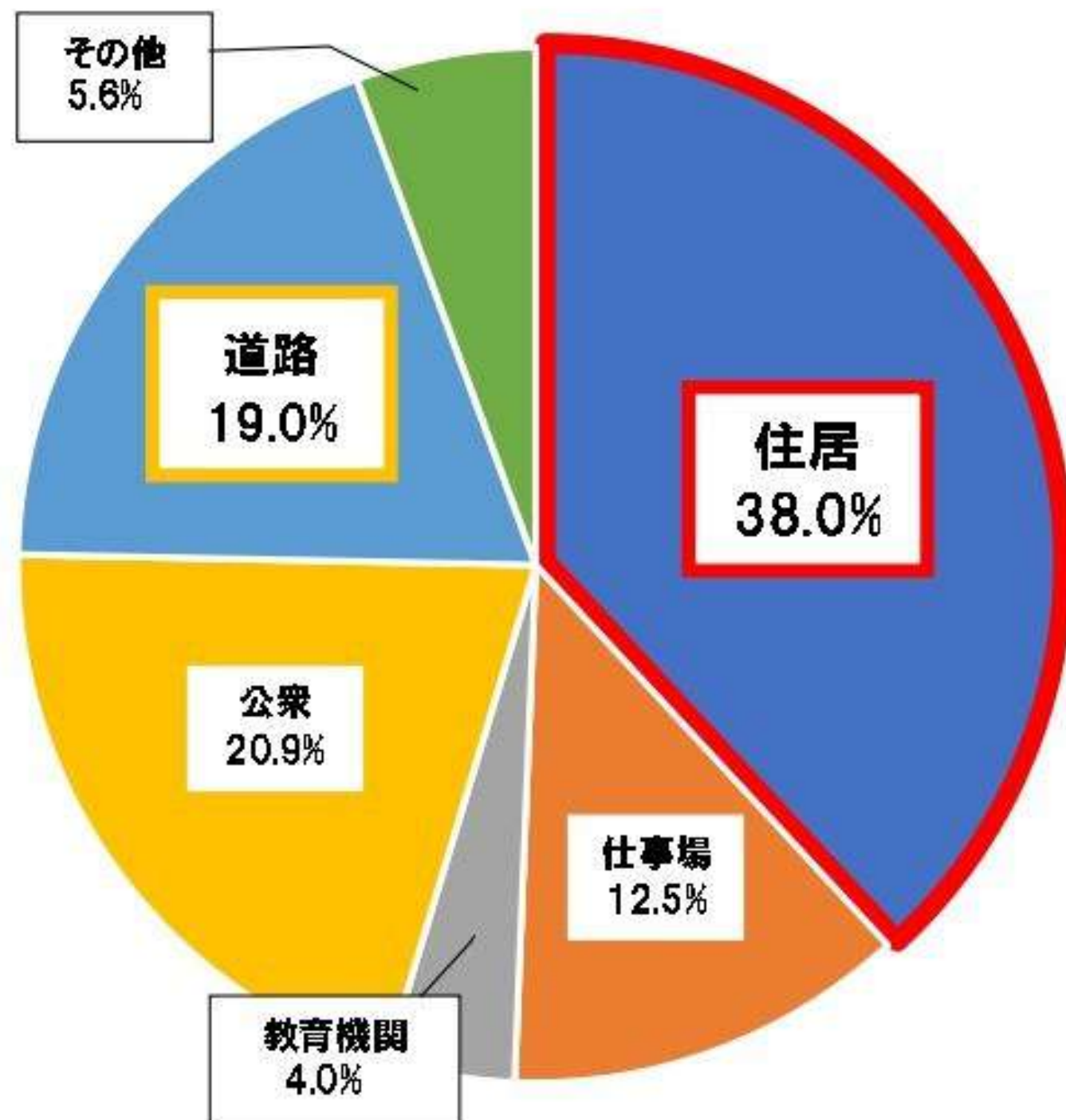
自宅で介護サービス等を受ける高齢者は、自ら熱中症の予防行動をとることが難しい場合があります。

そのため、介護に携わる方や家族が高齢者の熱中症に対する効果的な予防行動を支援することや、関係機関等と連携して見守りや声かけをすることで、熱中症の発症を防ぐことができます。



# はじめに

## ■令和6年 全国における熱中症の発症場所



熱中症の発症場所で最も多いのが「**住居**」です。  
夜間に外気が下がってもエアコンを使用しないことで室温が下がらず寝ている間に熱中症で亡くなる場合もあります。

(参考)総務省消防庁「熱中症による救急搬送状況(令和6年)発生場所別(構成比)」

# 1 熱中症の症状と対応



## 熱中症の症状と対応(軽症のとき)



熱中症は短時間で急速に重症化する危険性があります。早期に対応することが重要です。

意識ははっきりしている

手足がしびれる

めまい、立ちくらみがある

筋肉のこむら返りがある(痛い)

### 現場で対応し経過観察

涼しい場所へ避難して服をゆるめ体を冷やし、水分・塩分を補給しましょう。誰かがついて見守り、良くならなければ、病院へ。



# 消防庁 救急安心センター事業(＃7119)

(参考)総務省消防庁ホームページ



**全国36地域で  
実施**  
(令和6年11月時点)

※相談料無料  
通話料は利用者負担



★詳しくは、消防庁ホームページをご参照ください

「救急車を呼んだ方がよいか」、「今すぐ病院に行った方がよいか」など、判断に迷ったときに、「＃7119」(又は地域ごとに定められた電話番号)に電話することで、救急電話相談を受けることができます。

同センターでは、相談を通じて病気やけがの症状を把握した上で、下記についてアドバイスを受けることができます。

- 救急相談(例)緊急性の有無、応急手当の方法、受診手段
- 適切な医療機関の案内

## 熱中症の症状と対応(中等症のとき)



吐き気がする・吐く

頭ががんがんする(頭痛)

からだがだるい(倦怠感)

意識が何となくおかしい

熱中症は短時間で急速に重症化する危険性があります。早期に対応することが重要です。

### 医療機関を受診

すみやかに医療機関を受診しましょう。



## 熱中症の症状と対応(重症のとき)



意識がない

呼びかけに対し返事がおかしい

からだがひきつる(けいれん)

まっすぐ歩けない・走れない

からだが熱い

熱中症は短時間で急速に重症化する危険性があります。早期に対応することが重要です。

### 救急車要請

救急車を呼び、到着までの間、積極的に冷却しましょう。





## 3つの予防行動の実践

熱中症は症状が重くなると生命に危険が及ぶことがあります。が、適切に対策をすれば防ぐことができます。  
特に次の3つの予防行動を積極的に実践しましょう。

エアコンを使用

こまめに  
水分補給

涼しい服装  
涼しい環境づくり

救命救急医  
からの  
アドバイス



犬飼 公一氏  
熱中症予防啓発ネットワーク 代表／  
医学博士 救命救急医

# 熱中症は予防できる疾患です！

熱中症による入院死亡率は年間5%ほどで、例えば、**心筋梗塞\***による入院死亡率と同じ程度にもなります。

特に**高齢者の熱中症は重症化しやすく**、脳や肝臓、腎臓などの臓器に障害を起こして**入院が長期化**する場合や、**後遺症が残る可能性**があります。それにより高額な入院治療費がかかり、フレイル（加齢による心身の虚弱状態）も悪化します。

熱中症は怖いですが、適切な行動によって予防できます。

- ・**こまめに適切に水分補給**をする
  - ・室温28℃を超えたら**エアコン**を使用して部屋を涼しく保つ
- といった、**「水分」「冷房」**が肝要なポイントです。

\* 軽度あるいは中程度の心不全を呈したもの

## 2 効果的な予防に向けた3つの実践

### ①エアコン編



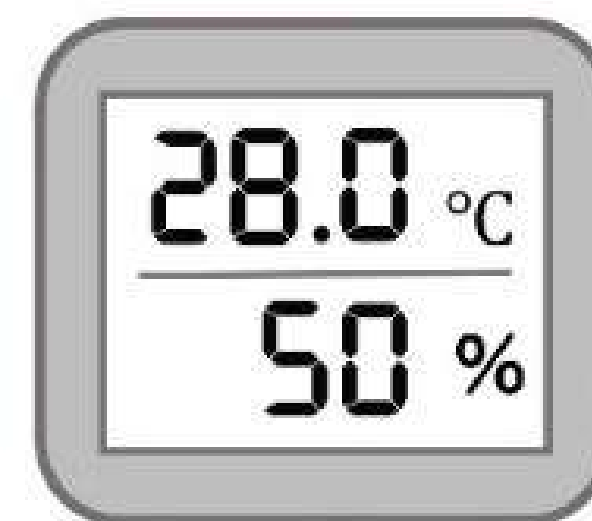


## 実践編 エアコン

### CHECK

- 温湿度計で部屋の温度や湿度を確認する
- エアコンが壊れていないか、暖房運転になっていないかを確認する
- 室温28℃を目安に適切な温度にする(湿度の目安は40～60%)  
★必要に応じて、エアコンの設定温度を低めにしましょう
- 就寝時もエアコンを使用する
- 冷えが気になる時は、エアコンの風向きを上向きに固定することや、扇風機を併用する

温湿度計で  
室温を  
こまめにチェック！





## エアコンの電気料金と入院費の比較

熱中症が重症化した場合、合併症や後遺症を発症しやすく、死亡する場合があります。

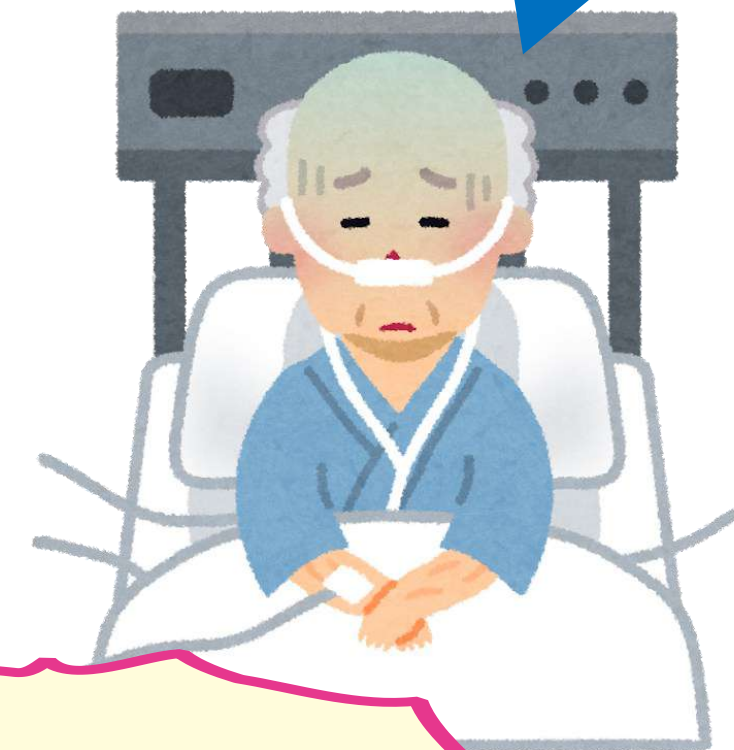
全国の救命救急センターを対象にした調査によると、**高齢者は熱中症で平均12日間の入院が必要で、死亡率は15%以上**にもなるとされています。また、**入院生活によって筋力の衰えや認知機能の低下が起こる**ことがあり、入院生活の間に、自立していた人が寝たきりになるという事例もあります。

「点滴をうってすぐに帰れる」といったような軽い考えではなく、熱中症を発症しないように、エアコンを使用するという予防行動をとることが重要です。

(参考) 熱中症予防啓発ネットワーク

エアコンを1日使用した場合の  
電気料金 **数百円** 

熱中症で1泊入院した場合の  
治療費 **数万円** 



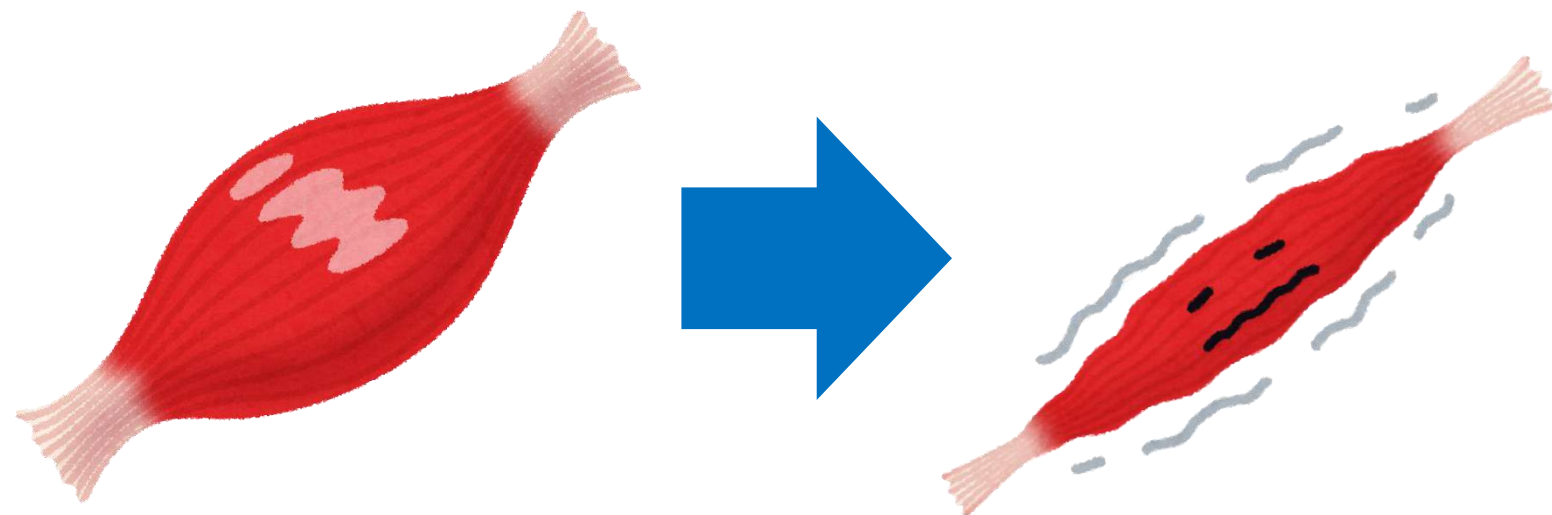
**エアコンの電気料金は  
入院の保険代！**

## エアコンの電気料金と入院費の比較

脂肪中の水分は10～20%に対し、  
筋肉中の水分は70～80%もあります。

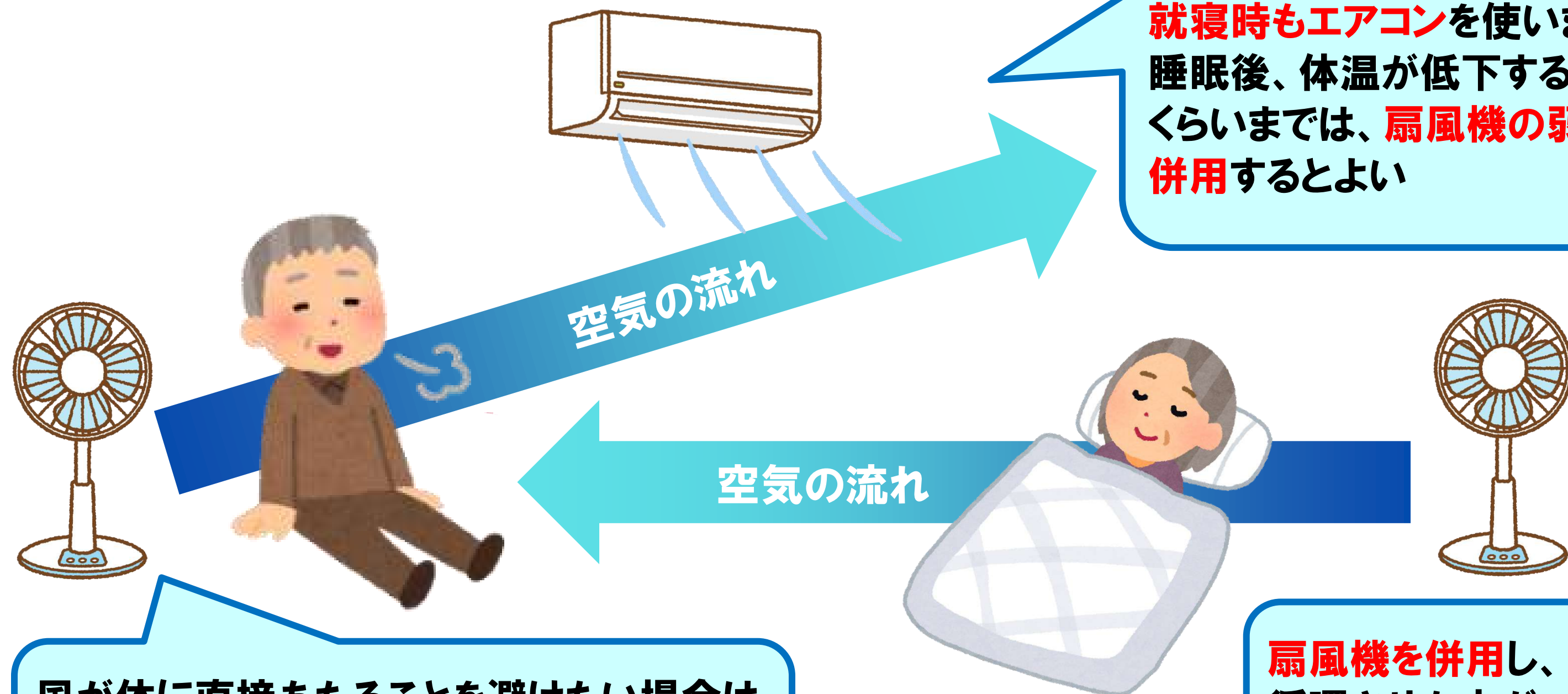
**体の中の水分を保つためには筋肉量を保つことが大切**です！

高齢者の筋肉量は、10日間の寝たきりで、  
健常者で**約1割**、重症患者で**約2割**も減少します。



熱中症にかかって入院した場合の入院治療費と比べると、エアコンの使用にかかる電気料金の方が安くすみます。特に**猛暑日のような外気温が高い日は、我慢せずエアコンを使用**しましょう。

## エアコンと扇風機を併用する工夫



**就寝時もエアコン**を使いましょう！  
睡眠後、体温が低下する4時間  
くらいまでは、**扇風機の弱い風を  
併用**するとよい

風が体に直接あたることを避けたい場合は、  
**エアコンの送風口や扇風機の首の角度を  
工夫**する

**扇風機を併用し、部屋の空気を  
循環**させた方が、**電気料金の節約**  
になります。





## ケアマネジャー・ヘルパーの「現場のアイデア」

### ●室温管理に工夫！

- ・エアコンの設定温度を1℃上げてみたところ、エアコンを切ってしまう頻度が減った。
- ・日中はデイサービス等を活用して、室温管理がされている場所で過ごせるように工夫した。

### ●声かけに工夫！

- ・エアコンの電気料金と、熱中症で入院した場合の治療費を説明し、経済的な観点からもエアコンを使用するよう声かけをした。
- ・ケアマネジャー、ヘルパー、訪問看護師が連携して、エアコン使用を促す声かけと、適切に使用しているかどうかの確認をおこなった。
- ・温湿度計を持参し、室温が高いことを視覚的に示してエアコンを使用するよう声かけをした。

### ●体感温度に注意！

- ・暑い外から入ってきたり、汗だくになって作業をすると28℃は暑く感じるが、室内で寝たきりだと28℃は寒く感じるので、高齢者との体感温度の違いに気をつけるよう、ご家族に説明した。
- ・エアコンの風が直接当たらないように、ベッドの位置を動かして調節した。



## 2 効果的な予防に向けた3つの実践

### ②水分補給編



## 実践編 水分補給

### CHECK

- 入浴前後や起床後にも水分を補給する
- のどが渴いていなくても、1時間ごとにコップ1杯(150ml 程度)を目安に、こまめな水分補給を目指す(1日あたり約1.5ℓ)
- 塩分の過剰摂取に注意する
  - ★水分や塩分の摂取量は、かかりつけ医の指示に従いましょう
  - ★大量に汗をかかない限り、塩分は普段の食事で摂れます

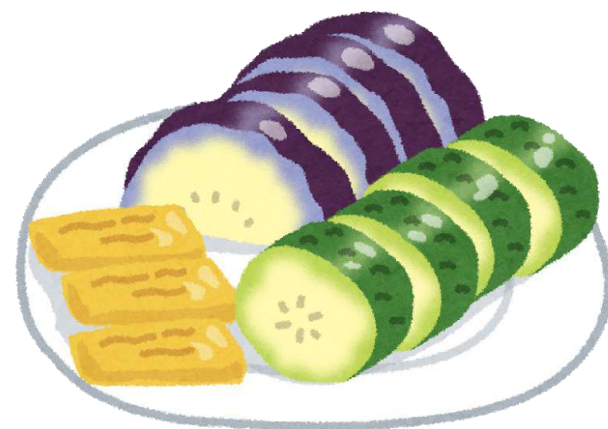


## 実践編 水分補給

少しずつこまめに水分補給をすることが大切！



麦茶などの  
ノンカフェインの  
ものがよい



大量に汗をかいた時は、  
水と一緒に梅干しや漬物を  
食べると塩分補給もできる



経口補水液や  
ゼリー飲料も  
活用するとよい

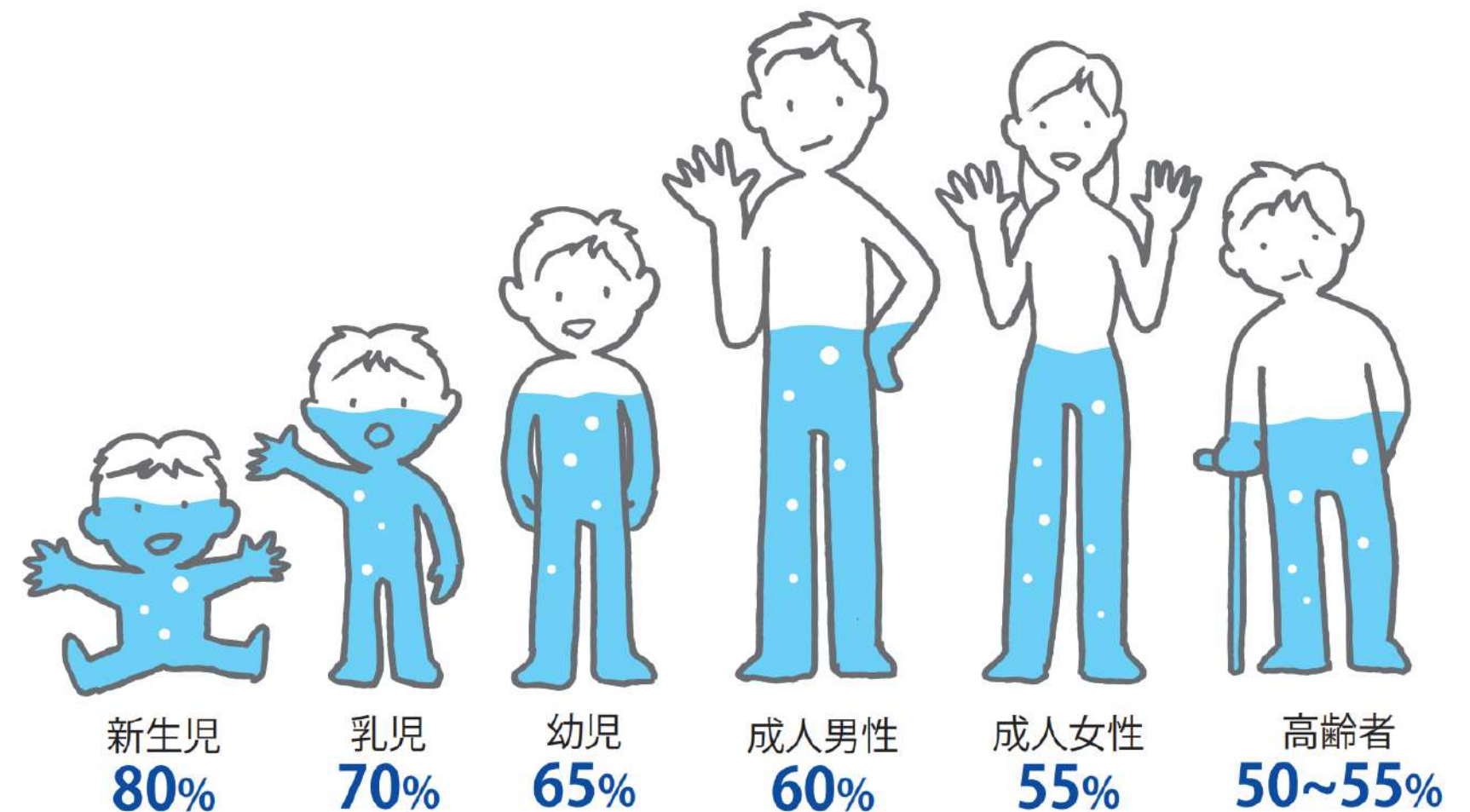


食事時に  
冷たい味噌汁に  
することもよい

## 高齢化による体の変化

高齢者は老化に伴い皮膚の温度センサーの感度が鈍くなり、暑さを感知しにくくなるため、血流量や発汗量があまり増えません。そうすると熱を放散する能力が低下し、深部体温が上昇しやすくなります。高齢化による体液量や血液量の減少も熱を放散する能力の低下につながります。

脱水が進むとのどが渇きますが、高齢者はのどの渇きを感じにくいことがあります。



**加齢とともに体重あたりの水分量が減る！**

(参考)環境省「熱中症環境保健マニュアル2022」

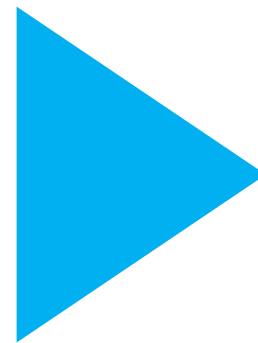


# 熱中症予備軍の脱水症状チェック

脱水症状が起きているのに自覚がない「隠れ脱水症」にも注意が必要です。  
爪を押して「隠れ脱水症」を確認しましょう。



手の親指の爪の色がピンクであることを  
確認し、手の親指の爪を逆の指でつまむ。



つまんだ指を離したとき、白かった爪の  
色がピンクに戻るのに3秒以上かかれば  
脱水症を起こしている可能性があります。

(参考)厚生労働省「働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」



## ケアマネジャー・ヘルパーの「現場のアイデア」

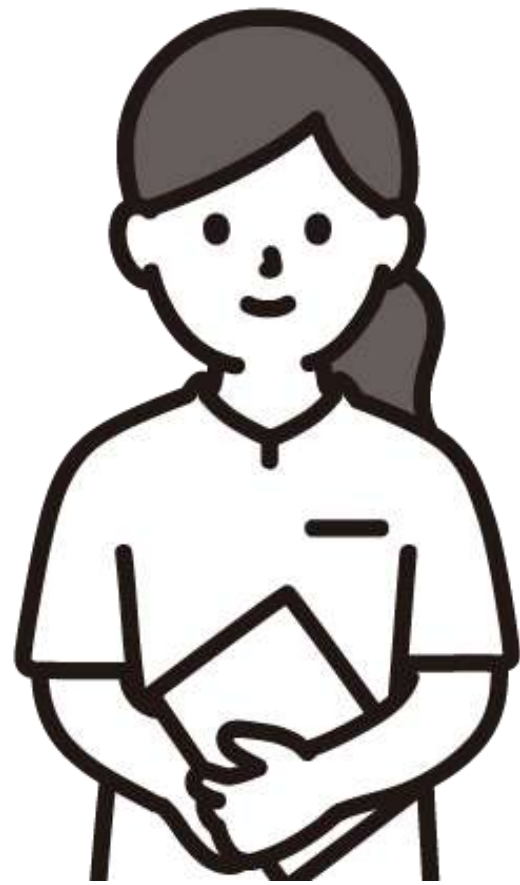
### ●水分補給の方法に工夫！

- ・飲んでいただきたい水分量をデイサービスのスタッフに伝え、連携して水分補給を促した。
- ・高齢者はあごを上げてペットボトルから水分を飲むことが難しかったり、キャップが固く開けるのに苦労したりするため、ストロー付きのキャップを装着して飲みやすくするように工夫した。
- ・本人は水分を摂っているつもりでも1日の摂取量が少ないため、目標摂取量(1日あたり約1.5ℓ)を伝えて、のどが渴いていなくても、こまめに水分補給を促した。
- ・大きなペットボトルではなく、500mlの小さなペットボトルを数本準備することで、飲んだ量を把握しやすくするとともに、ご本人も飲み切った達成感を感じることができるよう工夫した。

### ●飲み物を工夫！

- ・本人が好きな飲み物を枕元に多めに置き、サービスに入る度に摂取を促した。
- ・口当たりのよいゼリー飲料は、比較的好んで飲んでくれた。
- ・日本茶やコーヒーなどのカフェインを多く含む飲み物は、体の水分を尿として排出しやすくなるため、日本茶だけでなく麦茶や経口補水液を飲むように説明した。

管理栄養士  
からの  
アドバイス



## 3食＋こまめな水分補給で予防効果アップ！

熱中症の予防には、**こまめな水分補給**（食事以外の飲み物1.5ℓ目安）が重要です。また、食事にも水分が含まれていることから、**1日3回食事をとる**ことも大切です。

例えば、トイレに行った後にコップ1杯の水分補給をする、暑くなってきたらまずはコップ1杯飲む量を増やすなど、**水分補給のタイミング**を意識的につくみましょう。

**水分補給の時間や量などを記録して見える化してみる**ことも、水分補給の習慣につながってよいですね！



看護師  
からの  
アドバイス



# 水分摂取がすすみにくいときは、ゼリータイプの飲料も活用！

声をかけてもぼんやりして反応が悪い、ぐったりして元気がないなど、**活気がない様子**がみられる場合には、からだの水分が不足している可能性があります。脱水になる前に、**こまめな水分摂取**を心がけましょう。

液体での水分補給が難しいときは、**ゼリータイプの飲料**を取りいれてみるのもよいですね。

食べる量が減ってきたり、噛む力や飲み込む力が弱まっている場合は、間食や食事にプラスして、**エネルギー補給ゼリー**や**栄養強化デザート**などを活用するのもよいでしょう。

飲食物の飲み込みづらさがある場合は、まずはかかりつけ医にご相談してみてください。



## 2 効果的な予防に向けた3つの実践

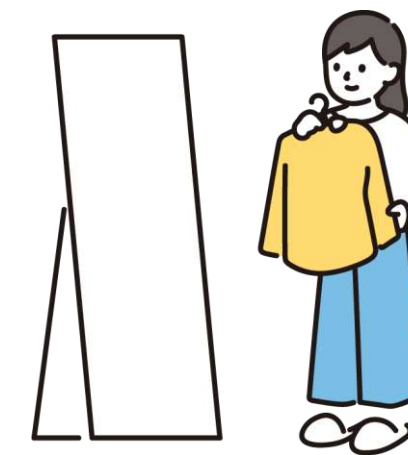
### ③ 涼しい服装・涼しい環境づくり編



## 実践編 涼しい服装・涼しい環境づくり

### CHECK

- 襟元や袖口のゆるい、ゆったりとした服を着る
  - ★綿や麻などの通気性のよい服を着ることで、体の熱が逃げやすくなります
  - ★吸汗や速乾といった機能をもった下着や服もおすすめです
- 外出時は、熱を吸収しやすい黒色系のものを避け、白や明るい色の服を選ぶ
- 服や下着を着込んでいないかを確認する
- 直射日光が射しこむ部屋には、外から熱が室内に入ってこないよう断熱カーテンやよしず、すだれ、シェードなどを設置する
- 座布団より、メッシュの椅子に座るなど、体に熱がこもらないような工夫をする



# 夏らしい服装



| 装い         | 体感温度  |
|------------|-------|
| 半袖シャツ短パン   | 27.8℃ |
| 長袖シャツ長ズボン  | 29.4℃ |
| + 薄手カーディガン | 31.0℃ |

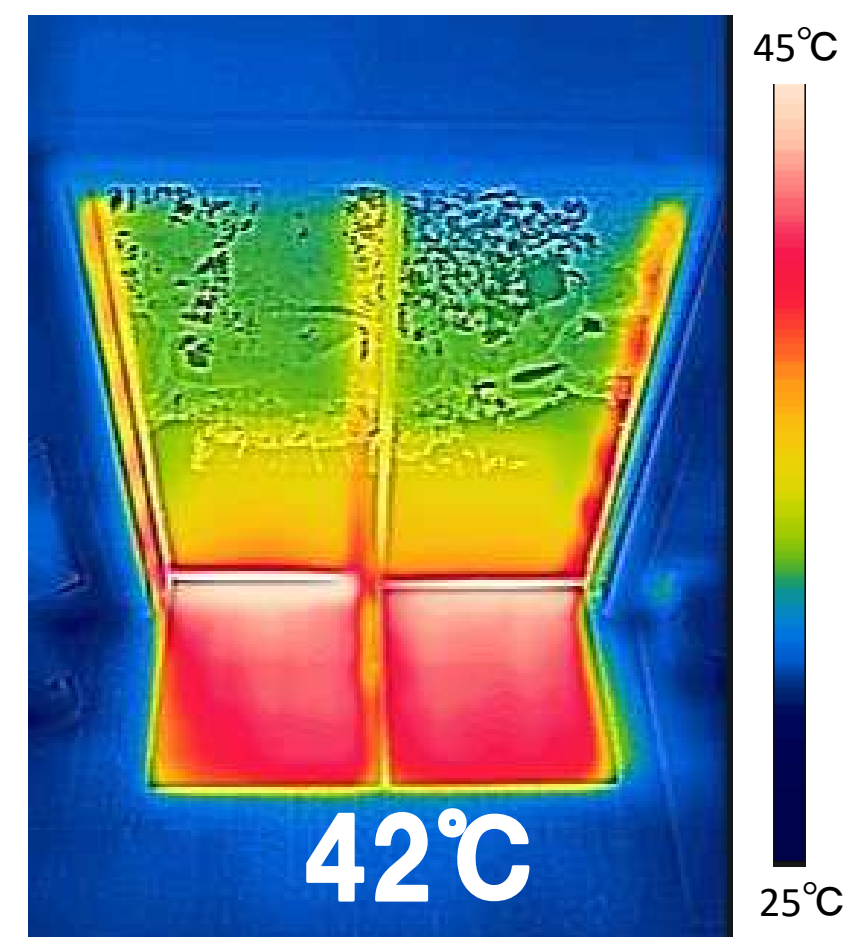
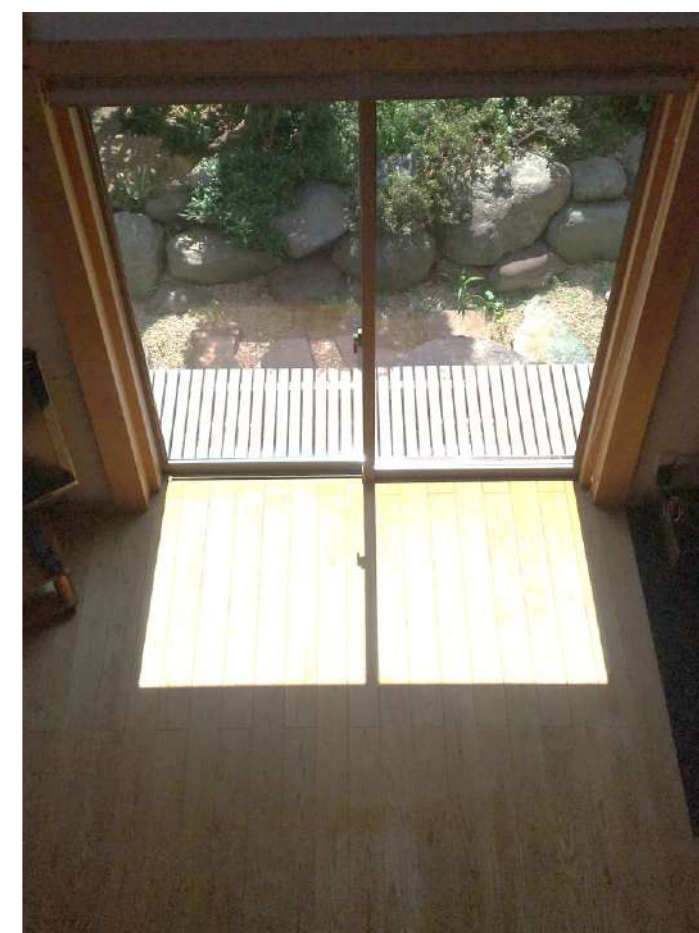
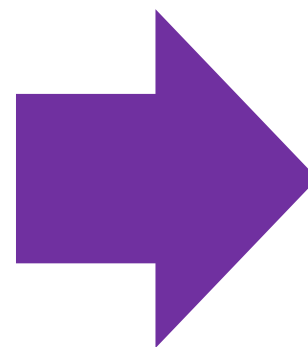
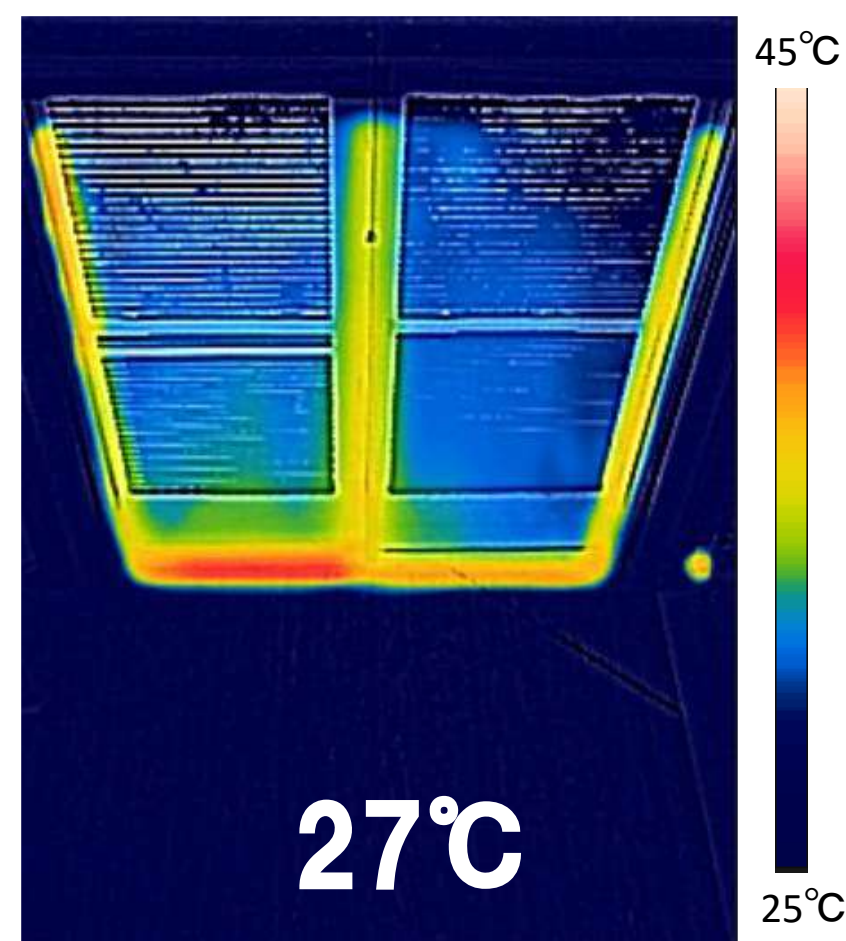
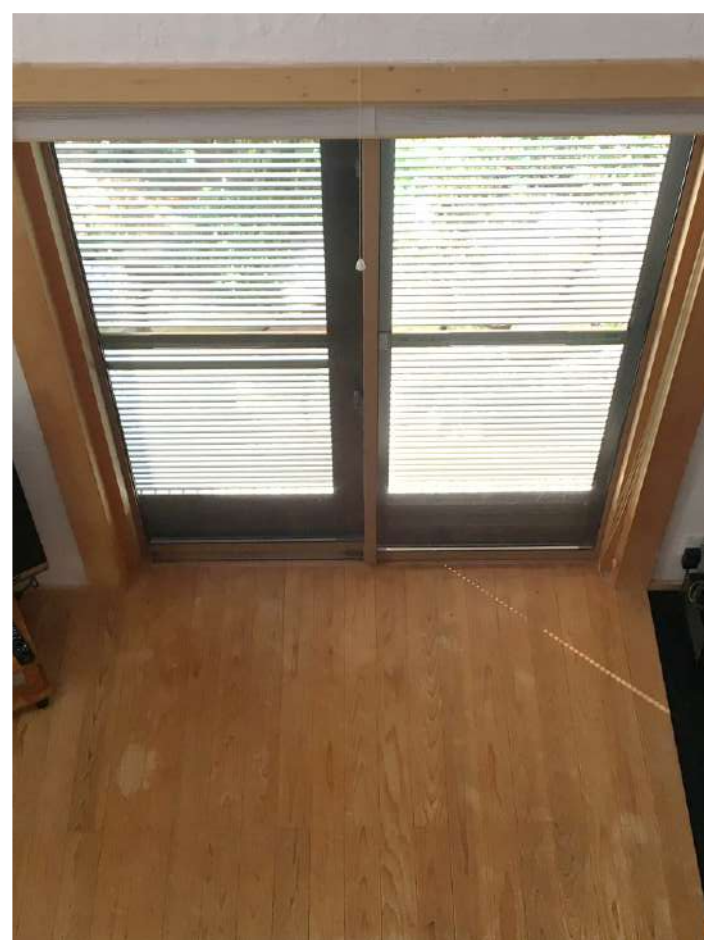
※下記の条件で計算した場合  
室内環境(日陰)  
気温:30℃  
相対湿度:70%

(参考)(一社)環境情報科学センター



## 部屋に熱を入れない工夫

窓から差し込む日射は、室温上昇の大きな要因となります。  
断熱カーテンやよしず、すだれ、シェードなどを設置して、日射を遮断しましょう。



日射熱で、床の温度が  
こんなに上昇する！

(参考)(一社)環境情報科学センター

## 介護する方もご自身の熱中症に注意



**食事、睡眠をしっかりとり  
体調を整えましょう**



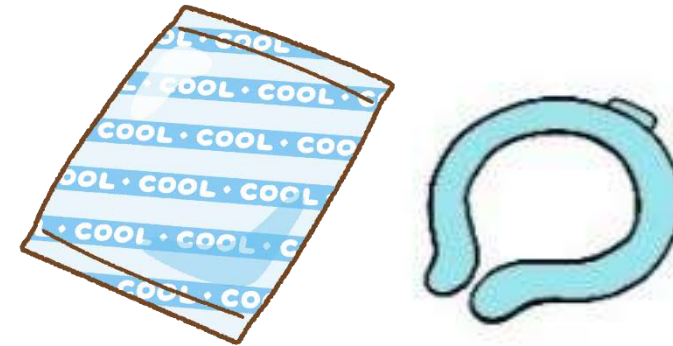
**こまめに水分補給をしましょう  
（大量に汗をかいた時は塩分も補給）**



**移動時には帽子や日傘を活用し  
日陰でこまめに休憩しましょう**



**通気性・速乾性のよい服装を  
しましょう。体を冷却する機能  
を持つ服の着用も検討しましょう**



**保冷剤やネッククーラーなどの  
冷却グッズを活用しましょう**



**暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を  
とり、1週間程度かけて徐々に体を暑さ  
に慣らしましょう**





## ケアマネジャー・ヘルパーの「現場のアイデア」

### ●うつ熱や脱水症状に注意！

- ・検温で体温が高いときには、「うつ熱」(体から熱を放散できずに体温があがってしまう状態)の可能性も考えて、服装やかけ布団の状態を見直し、水分補給をして体温放散を促した。
- ・厚着による脱水でぐったりしているような状況が何度もあったので、毎回服装を確認して涼しい服に着替えてもらうよう声かけをした。

### ●高齢者の状態に応じた環境づくりの工夫！

- ・認知機能が落ちている状況だとリモコンの操作を誤ってしまうことがあるため、本人にエアコンの管理を任せきりにせず、エアコンの使用状況の確認をした。
- ・遠隔で室温管理や操作ができるエアコンの機種が増えてきたので、家族の方に導入の検討を促した。

### ●部屋の状況に配慮した環境づくりの工夫！

- ・日当たりのよい部屋は、室温が急に高くなることがあるため、断熱カーテンで日射しを遮る、部屋を移動する、エアコンの設定温度を低くする工夫をした。
- ・各部屋にエアコンを設置していないので、夏の間はエアコンがある部屋にベッドや布団を移動して、夜間もエアコンの効いた部屋で睡眠がとれるよう工夫した。

理学療法士  
からの  
アドバイス



# 熱中症対策の習慣化には 毎日の生活動線にも目を向けてみる！

ベッドや居間など1日のなかで最も長い時間を過ごす場所で、エアコンのリモコンや、水分補給のための飲み物を**手が届きやすい場所に置いておく**などして、利用しやすい環境を整えることも大切です。

暑さの影響で外出機会が減ると、筋力低下やバランス機能の低下が進み、**転倒のリスクが増大**します。家のなかの生活動線に、つまづきや滑りの危険がないかを見直して、**動きやすい環境**を整えましょう。

また、**地域でのサロン活動や施設などでの体操**を利用することもよいですね。夏の外出時は炎天下の時間帯を避け、外出前に水分補給や、水分を持ち歩くなどしましょう。



## 高齢者ふれあい 交流サロンからの アドバイス



# サロンは思いやりも集まるところ 日々のあいさつが熱中症予防に！

サロンの利用者とは、**日常のあいさつのような感覚**で、水分補給やエアコンの利用などの熱中症対策について、お声がけをしています。

そこには「教える・教えられる」の関係ではなく、同じ地域に住む“ご近所さん”として、**相手に寄り添ったコミュニケーション**が大切になります。

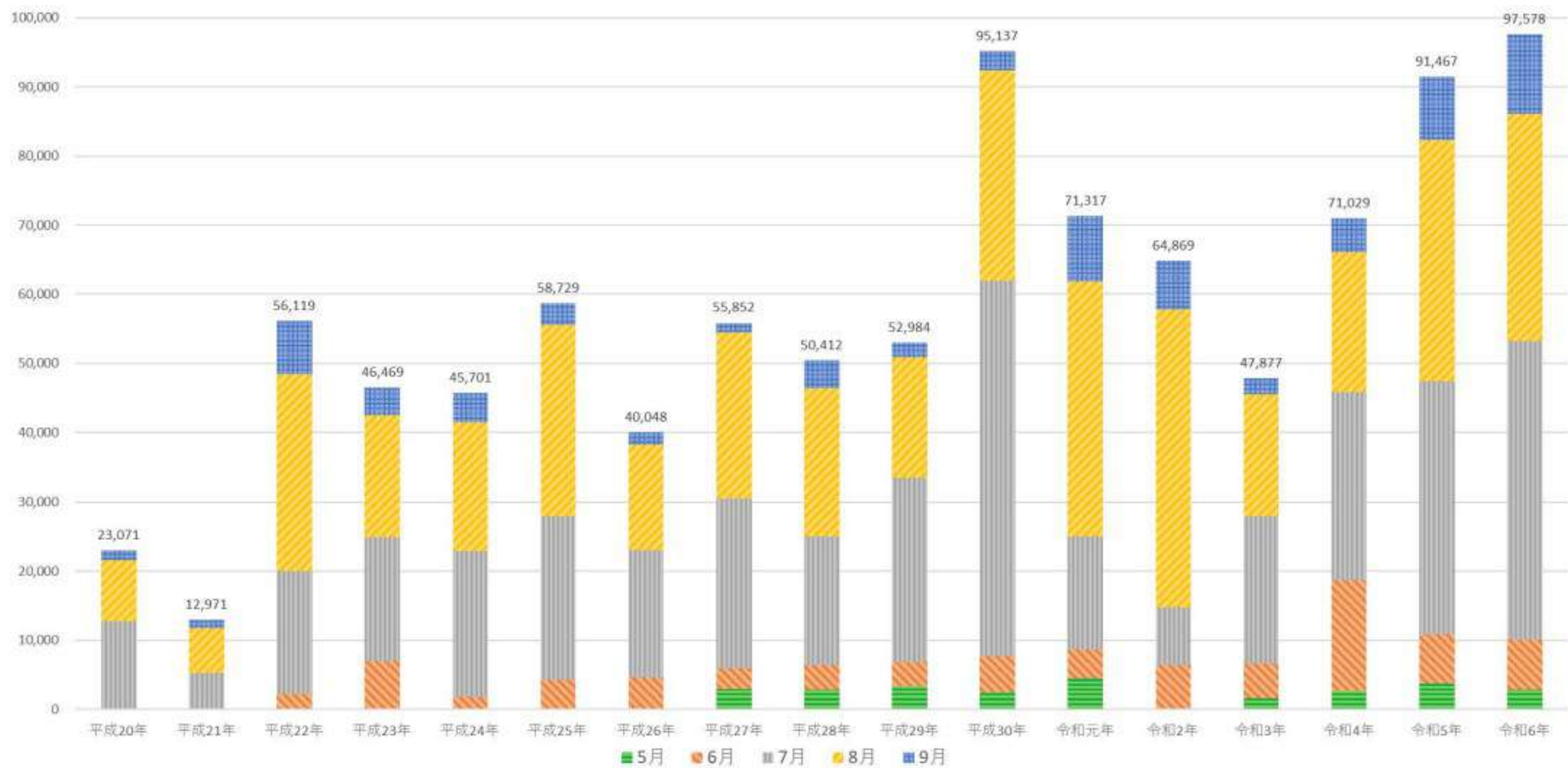
高齢の利用者の方には、**同じシニア世代のスタッフからの実体験を交えた声かけ**や、**お客さま同士のいつもの会話の中の情報**が、より自分ごととして熱中症対策を考えるきっかけになるようです。

# 3 資料編

## 熱中症予防に役立つ豆知識

## 熱中症による救急搬送者数

総務省消防庁報告データでは、令和6年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員の累計は 97,578 人でした。これは、調査を開始した平成 20 年以降で最も多い搬送人員となりました。



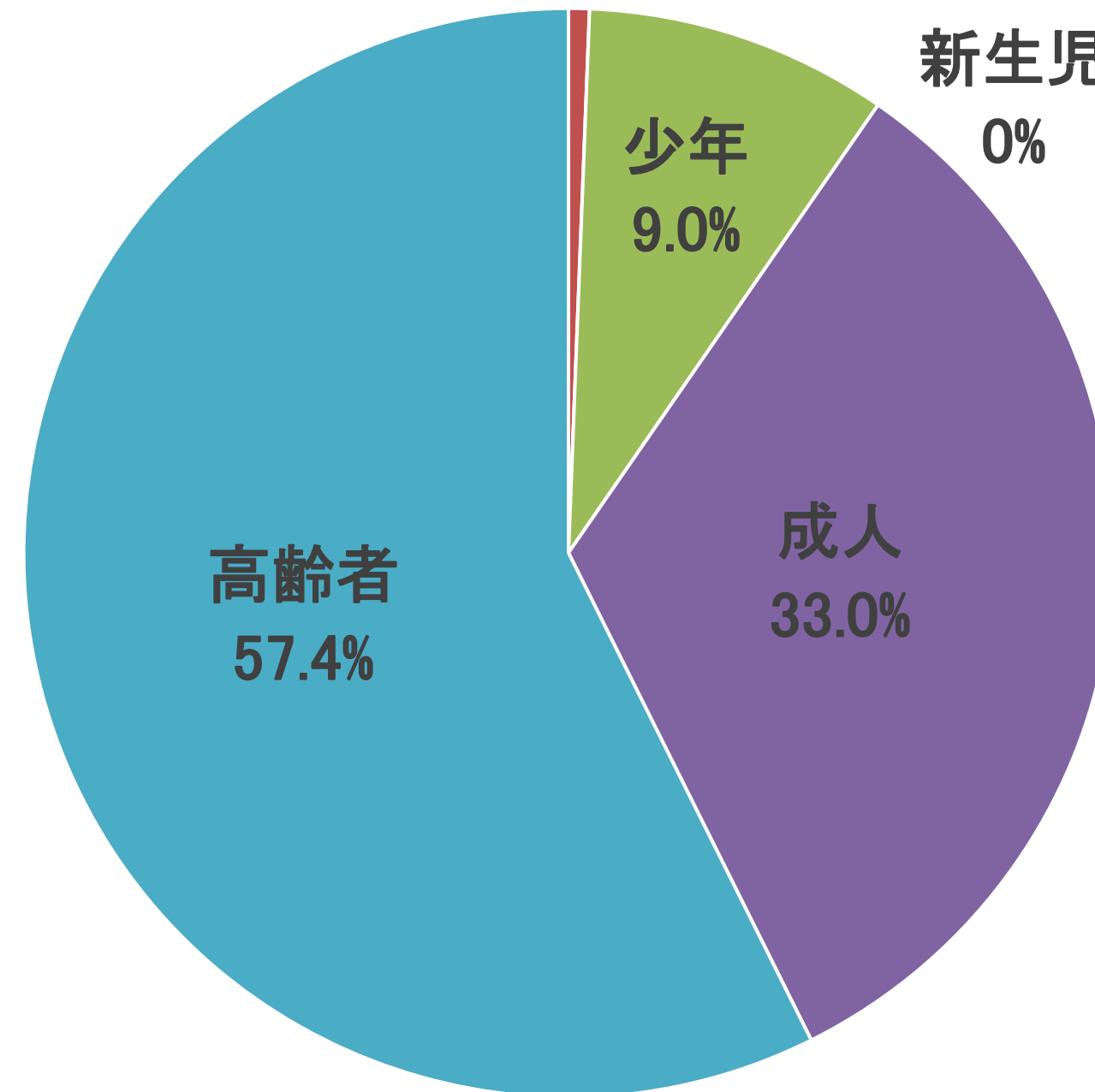
(参考)総務省消防庁「令和6年(5月から9月)の熱中症による救急搬送状況」



## 熱中症による救急搬送者の年齢区別

救急搬送される方のうち、高齢者の割合は50%以上を占めています。  
また、高齢者は重症化しやすく、入院を要する中等症以上の場合、高齢者の占める割合が非常に高くなっている状況です。

年齢区分別（構成比）  
総搬送人員 97,578人



乳幼児  
0.6%

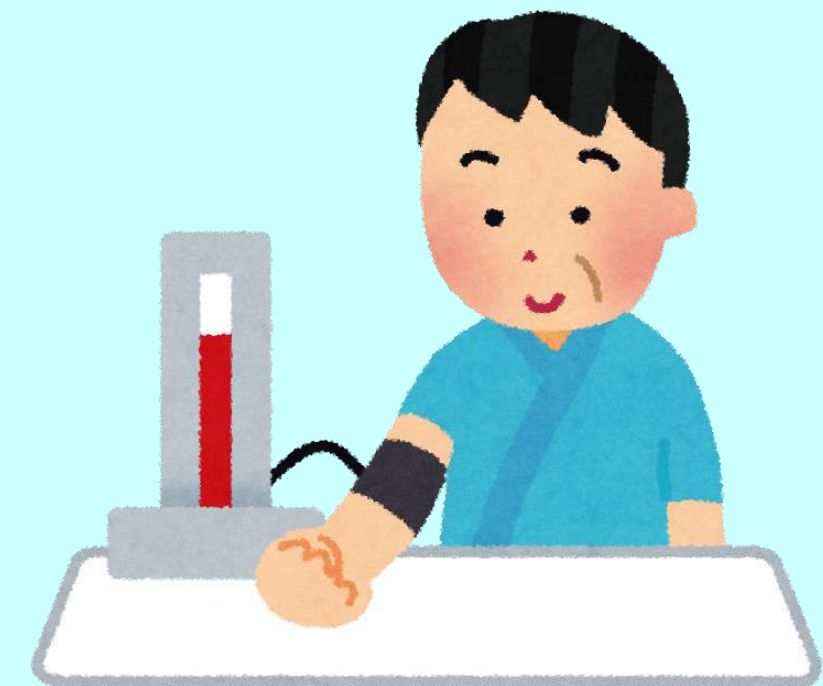
|     |                |
|-----|----------------|
| 新生児 | 生後28日未満の者      |
| 乳幼児 | 生後28日以上7歳未満の者  |
| 少年  | 満7歳以上満18歳未満の者  |
| 成人  | 満18歳以上満65歳未満の者 |
| 高齢者 | 満65歳以上の者       |

（参考）総務省消防庁「令和6年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況」

# 体温調節に影響する様々な要因1

## 服薬に関する要因

○高血圧の降圧剤や心疾患の方のベータ遮断薬、さらにはパーキンソン病治療や不随意運動を伴う精神神経症状を抑制する抗コリン薬によって、体温調節機能が低下する可能性があります。



## 体温調節に影響する様々な要因2

### 基礎疾患などに関する要因

- 糖尿病の方や腎機能が低下した方は、体の水分調節が適切におこなわれず、体温調節機能が低下する可能性があります。
- 認知症など認知機能が低下している方や精神疾患の方は、水分の摂取や軽装化、暑熱環境の回避など、自らの健康管理を十分におこなうことが困難なため、熱中症の発症リスクが高くなります。





## 体温調節に影響する様々な要因3

### 生活習慣などに関する要因

- 一人暮らしの方は社会的に孤立しやすく、健康状態の見守りが不十分になることや、周囲のサポート等を受けにくい状況になる場合があります。
- 古い住宅は断熱性能が低い可能性があるため、部屋が暑くなりやすく、エアコンの電気料金が高くなる場合があります。また、同じ家に長く暮らしていると、エアコンを使っていなかったころの生活習慣を続ける方もいます。
- 高齢者は厚着をしたり、夏でも布団をかけて寝るなど、体に熱がこもりやすい状況にあります。



## クーリングシェルター

市町村が、冷房設備を有する等の要件を満たす施設（公民館、図書館等）を指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として指定した場所で、誰でも休息できる施設のことです。

クーリングシェルターは、市民の休息場所として開放されることによって、高齢者などの熱中症弱者にも優しい施設になっています。

独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）の熱中症対策のホームページでは、地方公共団体から登録のあった施設をマップ上に掲載していますので、参考にしてください。



指定暑熱避難施設  
クーリングシェルター  
COOLING SHELTER



## みんなで見守り・声かけ

それぞれの自治体で、行政担当者等とも相談し、高齢者の見守り・声かけに協力いただけそうな組織等を検討してみましょう。

例えば・・・





# 熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラート

## 熱中症警戒アラート(熱中症警戒情報) WBGT 33

### 発表基準

府県予報区等内において、いずれかの暑さ指数情報提供地点での**翌日・当日の暑さ指数(WBGT)が33**に達する場合

### 発表タイミング

前日17時ごろ及び当日5時ごろ時点における予測値をもとに発表しています。

身近な場所での暑さ指数(WBGT)を確認し、涼しい環境以外では、運動等を中止しましょう(皆で熱中症対策を積極的に取りやすい環境づくりをしましょう。)！！

エアコンを適切に使用した  
室内等の涼しい環境で過ごし、  
こまめな水分補給を  
おこないましょう。

## 熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラート

### 熱中症特別警戒アラート(熱中症特別警戒情報) WBGT 35

#### 発表基準

各都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点での  
**翌日の暑さ指数(WBGT)が35**に達すると予測される場合

#### 発表タイミング

前日10時頃時点における予測値で判断し、前日14時頃に発表

涼しい環境への避難が大切なため、市町村が事前に指定を行っているクーリングシェルター  
(指定暑熱避難施設)が指定の時間帯に開放されます。

自宅にエアコンがある場合等、涼しい環境が確保できる際には、クーリングシェルターへの移動は  
必須ではありません。

エアコンを適切に使用した  
室内等の涼しい環境で過ごし、  
こまめな水分補給を  
おこないましょう。  
運動、外出の中止や延期を  
検討しましょう。

# 呼吸筋ストレッチ体操

暑さを避けて室内に閉じこもることで、筋力低下やバランス機能の低下が進むことがあります。筋力低下予防に、手軽にできるストレッチなども取り入れてみましょう。

環境再生保全機構(ERCA)では、気管支ぜん息やCOPDなどの発症予防、健康回復等の取組のひとつとして、「呼吸筋ストレッチ体操」をパンフレットと動画でご紹介しています。

おうちでできる体操として、ご参考にしてみてください！

生活の様々なシーンで息苦しさを覚えることはありませんか？

息苦しさの原因は、COPD(慢性閉塞性肺疾患)等の呼吸器疾患をはじめとして、過度なストレスなど多岐に渡ります。

呼吸筋ストレッチ体操は、呼吸筋を柔らかくすることで、息苦しさを和らげる体操です。毎日少しの時間でも構いませんので、体操を継続して行ってみてください。

[https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/00/archives\\_30220.html](https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/00/archives_30220.html)







独立行政法人  
環境再生保全機構  
ERCA Environmental Restoration and Conservation Agency

English

## 熱中症対策

熱中症対策業務 自治体ページ

指定暑熱避難施設 熱中症警戒情報

気候変動による過酷な暑さから  
健康を守るために  
熱中症対策を進めましょう

### 熱中症対策業務について

産業などの人間活動により排出される二酸化炭素などによって、地球全体の気温が年々高くなっています。

我が国では政府を始め、産業界、行政機関のほか一般のみならずとも省エネなど、温暖化を緩和するための取組を進めているところですが、すでに温暖化の影響によって線状降水帯の発生や極端な暑さなど、気候の変化が現れています。

このようにすでに生じている気候変動による影響に対応することを「適応」といいます。

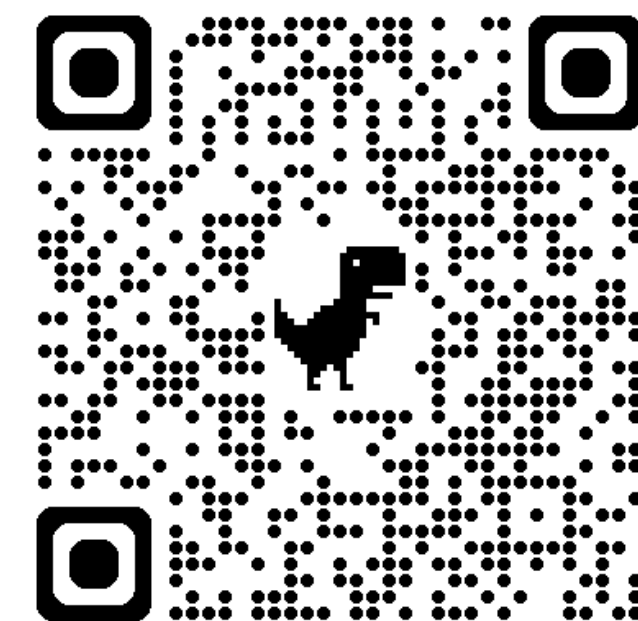
環境再生保全機構では、気候変動への適応のうち、「暑さ」による健康被害の発生を防ぐための取組を進めています。

地域における熱中症対策などについて情報を発信しています。

[詳細はこちら](#)

## 熱中症情報

ERCAでは、地域における熱中症対策などに関する情報を発信しています。



独立行政法人 環境再生保全機構